

東京2020大会に向けた全庁的な取り組みについて

1 目的

- 東京2020大会の開催を4か月後に控えて、全庁が一体となって気運醸成に取り組む必要
- そこで、各部局から東京2020大会に向けた気運醸成事業の提案を受けて、全庁的な取り組みを推進し、「オールとしま」の体制を実現していく

2 進め方

- 各部局予算での対応を基本とするが、庁内推進本部で承認された提案は、オリンピック・パラリンピック気運醸成経費から予算を執行委任（上限は5,000万円を想定）
- 今回は、東京2020大会の開催前と期間中の提案を募集

3 提案検討部局と案の例示

- 政策経営部
大学との連携、多文化共生の推進、オリパラ・ライブサイトのPR
- 総務部
職員育成、ライブサイト・ボランティア
- 区民部
区民ひろばでのイベント
- 文化商工部
商店街振興、文化プログラム、インバウンド、特別展示、ハレザ池袋
- 保健福祉部
バリアフリー、パラ・アート、パラ・スポーツ
- 都市整備部
エリマネ、バリアフリー等のまちづくり組織との連携、公園の活用
- 子ども家庭部・教育部
保育園・幼稚園・小中学校など子どもたちの参加

4 各部局からの提案状況

- 新規の提案事業数は61事業、既存事業で実施は13事業
- 事務局において39事業に絞り込み（1次選定）
- 1次選定39事業の具体的な検討を各部局に依頼し、4月中旬に2次選定を実施して事業化を決定

<選定の視点>

- 東京2020大会との関連性
- 多くの人に対するアピール・効果
- 組織委員会の承認（アンブッシュ）、予算規模などの実行可能性

<提案内容の熟度>

- 「A」・・・事業化に向けて検討
- 「B」・・・工夫・改善、他事業との連携の余地
- 「C」・・・更なる具体化・詳細検討が必要

5 スケジュール（予定）

- 3月4日（水） 各部局による検討依頼
- 3月16日（月） 各部局からの提案〆切
- 3月23日（月） 第2回庁内推進本部に報告（1次選定）
- 4月15日（水） 各部局からの2次選定案〆切
- 4月17日（金）、20日（月） 副区長による2次選定
- 4月23日（木） 第3回庁内推進本部で事業化提案の決定
- 5月中旬 各課へ執行委任

*** 今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況によってスケジュール等は変更の可能性**